

常任委員会報告

3月5日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会（3月9日）

質問 議案第12号令和2年度小城市国民健康保険特別会計補正予算第3号で、国の交付税算定基準見直しによる691万7千円減額だが、どのような見直しか。また、特定健康診査等事業費674万7千円の減額は新型コロナウイルス感染症の影響だと思いが、受診者はどうなっているか。

答弁 保険者の責めに帰すことができない事情に交付されるが、病床過剰分の廃止等3項目の減額となった。特定健康診査については、受診者数は昨年度は2,286人、今年度は1,691人、95人の減となった。

質問 議案第17号令和3年度小城市一般会計予算で、（歳入）市税について、ある程度減収として計上されているが、今後さらに経済状況が悪化した場合の対応は。

答弁 状況悪化の場合は12月に予算の補正を行う。
質問（歳出）次世代自動車充電インフラ維持管理事業について、市内2か所に設置されているが現状は、利用の少ない牛津総合公園設置の施設は移動できないか。

答弁 施設の光熱水費、損害保険料、保守委託料を計上している。利用実績は31年度でまちなか市民交流プラザ3,885件、牛津総合公園574件、施設の移設は関係団体等の協議が必要である。



▲牛津に設置している充電インフラ

文教厚生常任委員会（3月11日）

質問 議案第17号令和3年度小城市一般会計について、児童センター（三日月町）は土曜・日曜も開設しているのか。また人員は十分か。

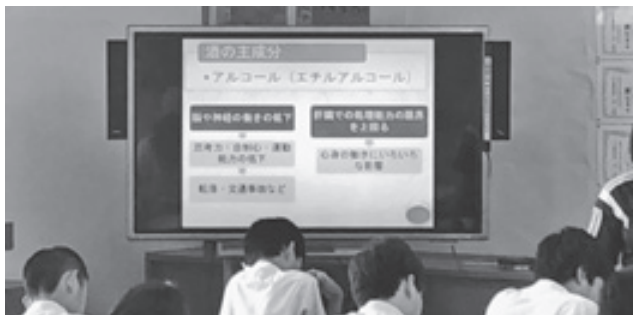
答弁 土日は開設し、火曜を定休日としている。地域子育て支援拠点事業において増員し、2つの事業を併せて新たなシフトを組みたい。

質問 議案第17号について、教育情報化推進事業の資機材の更新は、何年程度が目安か。

答弁 電子黒板については平成24年、25年に購入したものを令和3年度に更新予定であり、8～9年かかっている。パソコンやサーバー等については概ね5年リースとしているが、リース終了後にすぐ更新するのではなく、できる限りもたせて更新している。

質問 議案第21号令和3年度小城市病院事業会計について、内科医1名が減となっているが、医師確保の取り組みは。

答弁 佐賀大学や民間の医師幹旋事業者への募集広告等を出しているが、条件が合致する医師が見つからず苦慮している。



▲今年度更新される学校の電子黒板

産業建設常任委員会（3月10日）

質問 議案第17号一般会計予算について、牛津拠点地区市街地活性化推進事業で国の補助は令和5年までと説明があったが、令和3年、4年は計上されていない。全体事業が進んでいない中でまちづくりの拠点をなくしていくのか。

答弁 運営委託はこれまで牛津まちづくり株式会社へ委託していた。コンネの運営等の費用として、補助金ありきでなく運営できるように話をしていた、令和3年度は推進員一人を雇用し進めていくことでまちづくり会社と協議し進めていきたい。

質問 議案第22号令和3年度下水道事業会計予算について、下水道事業経営戦略改定及び使用料改定業務とあるが、令和8年度までに見直しとの国の方針変更と関連があるのか。

答弁 区域の見直しとは別の事業になるが区域の見直しは令和8年度を目途として国の方から概ね完成させるという指導があっている。下水道の区域については令和3年度から見直しを考えている。



▲三日月下水処理場